

## 登下校時の子どもを守る取組に御協力ください

保護者や地域の皆様には、日頃から、登下校時の見守り活動など、子どもを守る取組を推進していただき、誠にありがとうございます。おかげさまで、子どもたちは安全で安心して通学することができています。

広島市では、平成17年(2005年)11月22日に下校中の市立小学校児童が殺害された事件後に、毎月22日を「子ども安全の日」とし、地域では、皆様の御理解と御協力の下、見守り体制を強化していただいています。また、学校では、防犯教室や交通安全教室等の安全教育を計画的に実施し、家庭と連携して子ども自身が安全に行動する力を身につけさせるとともに、関係機関等と連携して通学路の整備を進めるなど、子どもの安全対策に取り組んできました。

しかしながら、教育委員会には年間300件を超える不審者情報が寄せられ、また、子どもが巻き込まれる交通事故も発生しており、子どもが安全で安心して通学できる環境がこれからも必要です。一方、学校では、教職員が子どもに向き合う時間を十分に確保するために、働き方改革の取組を進めており、登下校の時間帯に校外で行う日常的な見守り活動については、地域の実情を踏まえながら、段階的に縮小していくこととしています。

学校、家庭、地域、関係機関等がそれぞれの役割に応じて互いに連携し、地域ぐるみで子どもを守る取組を推進していくよう、引き続き、皆様の御理解と御協力をお願いいたします。

### 【地域ぐるみで取り組む子どもの安全】

